

## 題材名「チャットに夢中は要注意！」

### ■ 目標

- ・ ネットコミュニケーションの特性を知り、冷静な判断を失わずに関わりあうことができる。

### ■ コンピュータを利用する利点

単元導入前に携帯電話を含むインターネット接続環境について児童にアンケートをとった。家庭におけるインターネットの使用率は高く、情報収集などで積極的に活用していることが明らかになった。掲示板やチャットなどのインタラクティブなコミュニケーションツールに関しては、ほとんどの児童がその存在を知っているが、実際に活用している子は少なかった。

しかしながら、現在のインターネット接続の状況や所有する携帯電話の数から、今後ますますこういったツールを用いて、情報交換をシェアすることが多くなってくると考えられる。そこで、今回はチャットのメリットやデメリットについて検討させるとともに、疑似体験をさせることによって、見えない相手を意識した適切な活用方法を学ぶことを目標とした。

### ■ 授業の流れ

学習課題  
チャットの利用では、どんなことに気をつける必要があるのだろう。

映像クリップを視聴後、3人の気持ちを考える。

チャットコミュニケーションの特性について考える。

より良く活用するためにどんな点に気をつければよいのかワークシートにまとめる。

チャットの疑似体験をする。

チャットをするときには、どんなことに気をつけたいか自分なりの考えをもつ。

### ■ ICT活用場面

チャットに関する映像クリップをプロジェクターで投影し、その内容をみんなで共有しながら授業を進めた。また、キーシーンとなる場面では、映像を止めて、意見交流や情報交換をおこなった。



また、このようなチャットなどのツールのよさや留意点を確認した上で、実際にチャットの疑似体験をおこなった。校内LANを活用したコンピュータ教室内での活動であったが、児童は真剣に取り組んでいた。なお、テーマはこちらで3つ用意し、自由にチャットルームを出たり入ったりして交流をおこなった。

### ■ 成果と課題

成果としては、見えない相手を意識した交流のしかた、つまり、相手を思いやる気持ちの大切さやネット上の情報は、すべてが正しいとは限らず、内容をよく吟味することの重要性を感じることができた。

課題としては、チャットだけでなく、著作権や個人情報、なりすまし等のインターネットをとりまくさまざまな事象について、今後も継続的に指導をおこなう必要があると感じている。

### ■ ICT活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 15 台、プロジェクター
使用ソフト名	Internet Explorer 事例で学ぶNet モラル (Web 版) ・・・市内教育センターより配信 キューブきつず
使用教室	コンピュータ教室